



THE 1ST PHILIPPINE
**INTERNATIONAL
RIVER SUMMIT**
ILOILO CITY
May 30-June 1, 2012, Philippines

第1回フィリピン国際河川サミット 参加報告

(2012年5月30日～6月1日：フィリピン国イロイロ市)



日本河川・流域再生ネットワーク(JRRN) 事務局



第1回フィリピン国際河川サミット(1st Philippine International River Summit)がフィリピン国イロイロ市(Iloilo city)で2012年5月30日～6月1日に開催され、JRRNが取組むアジア河川・流域再生ネットワークの構築やフィリピンにおける河川再生最新事情の情報収集等を目的に、JRRN事務局として参加する機会を得ました。

本サミットの概要や参加を通じた知見を簡単にご紹介させていただきます。

◆1st Philippine International River Summitホームページ：

<http://www.internationalriversummit.com/>

目次

1. 「フィリピン国際河川サミット」とは？
2. 開催地Iloilo市と現地河川の紹介
3. 主な行事の紹介
4. 展示ブースの紹介
5. 各種メディアを通じた行事広報紹介
6. 本サミットに参加しての感想と今後の取組み



AQUINO III フィリピン大統領による演説



1. 「フィリピン国際河川サミット」とは？

パートナーシップを軸とした持続可能な河川流域管理方策をフィリピン全土で共有する初の国際行事！

本行事は、「My River, My Life」をテーマに、持続可能な河川流域管理の知見をフィリピン国内及び海外関係者で共有することを目的としてフィリピンで初めて開催され、フィリピン国大統領や国会議員、州知事なども参列し、フィリピン国内より約1,100名（地方自治体議員や政府職員、市民団体、実務者等）、また海外より15か国約80名（研究者、NGO、行政関係者、ドナー等）が参加し盛大に催されました。

- 開催地： フィリピン国西ビサヤ地方パナイ島のイロイロ市（概要は次章参照）
- 開催期間： 2012年5月30日（水）～6月1日（金）
- 主催者： イロイロ市(Iloilo City)、環境天然資源省(DENR)

【1st Philippine International River Summitの4つのテーマ(Important Issues)】

- 1) 河川・流域ガバナンス
- 2) 生物多様性管理とエコツーリズム
- 3) 気候変動と減災管理
- 4) 水質と水資源管理



サミット会場の様子



2. 開催地Iloilo市と現地河川の紹介

イロイロ市 (Iloilo City) の概要

本行事が開催されたイロイロ市は、フィリピンの首都マニラから飛行機で南方に1時間、西ビサヤ地方パナイ島の南東部端に位置する人口約44万人、面積70km²の地方都市です。イロイロ市の洪水対策や環境整備事業はJICAを通じた日本の援助で実施され、また2007年には円借款により新イロイロ国際空港が開港するなど、日本とも深い関わりがあります。

市内中央部をイロイロ川が流れ、「Showcase of Thriving Urban Biodiversity (繁栄する都市の生物多様性の模範)」「Iloilo River as lifeline of city (市のライフライン・イロイロ川)」等の表現に見られる様に、イロイロ川を軸とした地域の環境向上や経済発展を、市長の強いリーダーシップのもと市政として前面に掲げて取り組んでおります。こうした背景から、フィリピンで初となる河川サミットがこの地で開催されました。

※イロイロ市ホームページ（英語）：<http://www.iloilocity.gov.ph/>



イロイロ川 (Iloilo River) 及びハロ川 (Jaro River) の概要

イロイロ市を流れるハロ川(流域面積 約400km²)及びイロイロ川(流域面積 約100km²)は、台風や集中豪雨により常襲的な洪水被害に悩まされ、また生活雑排水や廃棄物の投棄などで汚染が進み、洪水被害の軽減と河川環境改善が長く課題となっていました。

そこで、日本の政府開発援助として、1990年代にハロ川及びイロイロ川の洪水対策事業計画が立案され、2006年からは、この計画に基づく全長4.8 kmの放水路建設や市内の排水路改善事業などの工事が実施されました。

現在は、洪水被害の軽減と快適な生活環境が確保され、これら河川を軸としたイロイロ市地域経済の躍動への期待が高まっています。

なお、イロイロ川における河川整備活動は、米国シカゴに拠点を置く「Rivers of the World (ROW) Foundation」より持続的環境配慮型事業として2010年に金賞を授与されました。

※イロイロ洪水制御事業に関わるJICAホームページ：

<http://www.jica.go.jp/press/archives/jbic/autocontents/japanese/news/2002/000035/appendix.html>

※Rivers of the World (ROW) Foundation : <http://www.rowfoundation.org/>

事業前
2011年2月



事業後
2011年11月



2.開催地Iloilo市と現地河川の紹介

イロイロ川 (Iloilo River) の様子

ILOILO RIVER ESPLANADE

This 1.2 kilometer esplanade celebrates Iloilo citizens' love for their river. It provides a functional, as well as beautiful, venue that accommodates varied leisure activities open for all to use and appreciate. It also brings everyone closer to the water's edge, reconnects people back to nature and increases awareness of the environmental balance necessary for the city to sustain those who live within its borders.

WIDENING OF TRENJAI BOULEVARD ALONG ILOILO RIVER (ILOILO RIVER ESPLANADE)
Iloilo City

PROJECT DESCRIPTION
The Widening of Treñas Boulevard along Iloilo River stretches 1.2 km and provides linkage between Iloilo Bridge along Iloilo Diversion Road and Carpenters Bridge along Moib-Mandumiao Road. The project includes paving of a 4.0m wide road with paving blocks, slope protection, landscaping and complementing structures such as trellis, pylon, seat wall, view deck, signage stand, boating station and others.

CONTRACT COST
: P 57.77 Million
P 38.46 Million (Road Component)
P 19.31 Million (Slope Protection)

DATE STARTED
: December 5, 2011

DATE OF COMPLETION
: July 1, 2012

IMPLEMENTED BY
: DPWH 6th Regional Office
Iloilo City

**DEPARTMENT OF PUBLIC WORKS AND HIGHWAYS
REGION VI**



イロイロ川下流部



整備中のESPLANADE親水公園

公共事業省が実施中のEsplanade親水公園整備事業の紹介資料。イロイロ川沿いの約1.2kmを、親水性を高め、様々なイベントや文化行事等が開催可能な環境整備を進めている。（総工費：約1億円）

3. 主な行事の紹介

開会式や講演行事などについて概要をご紹介します。(赤字部分を紹介)

【全体プログラム概要】

5/30 (水)

9.00am - 参加者登録 (Registration)
 11.00am – 12.00pm **サイドイベント開会式** (Opening Program)
 1.00pm – 5.00pm **サイドイベントセッション (分科会)** (Sessions)
 5.30pm - **展示ブースオープン**(Opening of Exhibits)
 6.00pm - 市長主催歓迎懇親会 (Mayor’s Reception)

5/31 (木)

8.00am – 9:00pm 参加者登録 (Registration)
 9.00am – 11.30pm **サミット開会式及び基調講演** (Opening Ceremony)
 1.30pm – 5.00pm **サミットセッション (分科会)** (Parallel Sessions)
 6.00pm - 歓迎式典及び文化行事 (Fellowship Dinner)

6/1 (金)

9.00am – 11.00am **閉会式及び大統領基調講演** (Closing Ceremony)
 1.30pm - 4.30pm 現地視察行事(Study Tour)



サミット会場の様子



歓迎式典での文化行事



【1】 サイドイベントの開会式（5/30午前）

本サミットのキックオフ行事として、サミット前日の5/30（水）午前に、サイドイベント開会式が開催されました。

本サミットでは、国際協力機構(JICA)および現在横浜市に事務局を置くアジア太平洋都市間協力ネットワーク(CITYNET)が行事運営面でサポートを行い、それぞれの団体の代表者がメッセージを述べられていました。



サイドイベント開会式の様子

概要説明	Dr. Vicente Tuddao	Director, DENR-RBCO （環境天然資源省流域管理局）
祝辞	Mr. Takahiro Sasaki	Chief Representative, Japan International Cooperation Agency (JICA) （国際協力機構・日本）
	Mr. Victorino Aquitania	Executive Director, Southeast Asia ,ICLEI
	Mr. Kendra Hirata	Program Officer, CITYNET （アジア太平洋都市間協力ネットワーク・日本）
	Dr. Matthew C. Perry	Founding Member, Rivers of the World Foundation (ROW) Maryland, USA



【2】 サイドイベントのセッション（5/30午後）

3つの分科会（1. 意思決定システム、 2. 統合水資源管理、 3. 災害リスク軽減管理）が開催されました。

◆セッション名：(1) **Decision Support System Forum (Scientific Forum)** 意思決定システム

◆プログラム：

1. **Application of Radar Data for Quantitative Precipitation Estimates and Forecasts –**
Dr. Chumchean Siriluk, Mahanakorn University of Technology, Bangkok, **Thailand**
2. **Geomorphologic Processes of Watercourse Development, System of Typology and Application of the Results in Practice –** Miloslav Sindlar, **Czech Republic**
3. **Framework for Developing Watershed Report Cards –** Gary Wilkins, CUI
4. **Biodiversity of River Systems and Adjoining Wetlands –** Dr. Matthew Perry, Maryland, **USA**
5. **Translating Science into Knowledge Achieving the Vision for Waterways in Australia’s fastest-growing region –** Dr. Eva Abal – Brisbane, Queensland, **Australia**
6. **Application of Nuclear Analytical Techniques for benchmark Hydrogeochemical and Radiological Characterization of Aklan River Tributaries –** Dr. Raymund Jacinto Sugang, Philippine Nuclear Research Institute



【2】 サイドイベントのセッション（5/30午後）

3つの分科会（1. 意思決定システム、 2. 統合水資源管理、 3. 災害リスク軽減管理）が開催されました。

◆セッション名：(2) **Integrated Water Resources Management Forum** 統合水資源管理

◆プログラム：

1. **Working to create a Water Secure Southeast Asia**
2. **IWRM In the Philippines** – Vicente S. Paragas, Metro Manila, Philippines
3. **IWRM in the context of Water Supply & Wastewater in Metro Manila’s East Zone** – Mark Mulingbayan, Manila Water Company, Inc.
4. **Financing IWRM Projects in the Laguna de Bay Region Philippines** – Dolora N. Nepomuceno, Metro Manila, Philippines
5. **Technology Options for Wastewater and Septage Treatment** – Engr. Francisco Arellano, Metro Manila, Philippines
6. **Sagip Pasig Movement Empowering Communities for River Rehabilitation** – Myrna Jimenez, Metro Manila, Philippines



【2】 サイドイベントのセッション（5/30午後）

3つの分科会（1. 意思決定システム、 2. 統合水資源管理、 3. 災害リスク軽減管理）が開催されました。

◆セッション名：(3) Disaster Risk Reduction Management Forum 災害リスク軽減管理

◆プログラム：

1. **Urban Risk Management** – Dr. Rosa Perez, Manila
2. **Climate Risks and Adaptation Strategies Flood Management in Tropical Rivers** – Dolores Hipolito, DPWH, Manila
3. **Sattelite Imagery and Aerial Photos in Disaster Damage Management Of Sendong, Cagayan De Oro and Iligan** – Jerry Fano, DPWH, Manila
4. **The PAGASA Flood and it Early Warning Services** – Dr. Rosalie S. Pagulayan, PAGASA, Manila
5. **Local Flood Early Warning System** – Edlin Lumanog, **German** Society of International Cooperation
6. **Now What Do We Do** – William Menninger
7. **Applied Flood Disaster and Risk Reduction** – Dr. Cedric Daep, Albay Philippines

(3) サミット開会式 (5/31午前)



イロイロ市長による開会宣言



上院議員による挨拶



開会式の様子

氏名	所属
Hon. Jed Patrick E. Mabilog	Mayor, City of Iloilo (イロイロ市長)
Hon. Arthur D. Defensor, Sr.	Governor, Province of Iloilo (イロイロ州知事)
Hon. Franklin M. Drilon,	Senator, Republic of the Philippines (上院議員)
Hon. Ramon Jesus P. Paje	Secretary, Department of Environment and Natural Resources (環境天然資源省大臣) ※代理出席



【4】 開会式基調講演（5/31午前）

開会挨拶に続いて、4つの基調講演が行われました。（すべての講演資料は行事HPより入手可能）

◆講師：Fred Eisenberger（カナダ・前ハミルトン市長）

◆タイトル：Bringing Back the Harbour, Lessons from the City of Hamilton

◆概要：

オンタリオ湖に位置するハミルトン港沿岸部の環境再生の取り組み紹介とそこから得られた教訓に関わる発表。まずは沿岸部の激しい環境悪化を含む地域の歴史的経緯を丁寧に説明し、その改善のために何を行い、そこから得られた7つの教訓を前半で紹介。そして、それぞれの教訓について、写真を織り交ぜ詳しく解説するという、他地域での活用や知見共有を意識した素晴らしい講演であった。



◆講師：Manuel V. Pangilinan（フィリピン PLDT）

◆タイトル：Caring for "Our Treasure"

◆概要：

フィリピンに421の河川があり、そのうちの20が大流域の河川であり、さらに50の河川が生態的に死の川であるというデータを冒頭で開示。その後、近年の台風被害状況なども織り交ぜ、洪水防御と環境改善をどのように両立させていくかについて、民間企業としてできる取組、実際に着手している活動などの概要を紹介していた。



【4】 開会式基調講演（5/31午前）

開会挨拶に続いて、4つの基調講演が行われました。（すべての講演資料は行事HPより入手可能）

◆講師： H.E. Datuk Seri Mohd Ali Bin Mohd Rustam（マレーシア・マラッカ大使）

◆タイトル： Sungai Melaka（マラッカ川）

◆概要：

マレーシア国マラッカ川の河川再生の紹介。かつてのマラッカ川の様子、またマラッカの紹介の後、マラッカ川環境再生と地域活性化に向けてどのような取組を実施し、何が変わったかについての解説があった。発表では、整備前と後（before and after）の写真を豊富に紹介し、変化の様子が視覚的に分かるとともに、舟運や水辺行事を通じた地域活性化の様子、さらに今後のマラッカ川の展望が紹介された。



◆講師： Noel Hechanova（フィリピン・イロイロ市）

◆タイトル： Iloilo River, Then and Now

◆概要：

イロイロ川の歴史紹介からスタート。スペイン統治時代以前から現在までの変化の紹介の後、現在のイロイロ川について、生物、経済、観光等の切り口から解説し、どのような仕組み（イロイロ川開発委員会）で河川整備が行われ、また今後の展望（具体事業）についても紹介があった。



【5】 サミットの個別セッション（分科会）（5/31午後）

4つの分科会（1. ガバナンス、2. 災害リスク軽減管理、3. 水質及び水資源管理、4. 生物多様性管理とエコツーリズム）が開催されました。

◆セッション名：(1) **Governance** ガバナンス

◆キーワード：

持続的開発・パートナーシップ・ナレッジ管理・環境教育
協働・統合的パートナーシップアプローチ・モニタリング・
レポートカード・メディア活用

◆プログラム：

1. **Integrated River Basin and Coastal Area Management: Towards a Clean and Managed River System** – Robert S. Jara, PEMSEA
2. **Environmental Activity Together with Local Residents** – Tetsuro Odashima, Yokohama City, **Japan**
3. **An Integrated Partnership Approach to Managing Waterways in Australia’s Fastest-Growing Region** – Dr. Eva Abal, University of Queensland, **Australia**
4. **Establishment of Governance for the Ecological Restoration of Hangang** – Kim-Yoon-Kyoo, Hangang Bureau, **Korea**
5. **A Project on Integrated Development of the Bishnumati River Corridor and Inner City/Historic Core in Kathmandu** – Devendra Dongol, Kathmandu **Nepal**
6. **Integral Approach for the Development of River Front Cities Flood Control, Watershed Management and Water, Improvement** – Sachiko Takeda, JICA, **Japan**



横浜市港北区
の発表

【5】サミットの個別セッション（分科会）（5/31午後）

4つの分科会（1. ガバナンス、2. 災害リスク軽減管理、3. 水質及び水資源管理、4. 生物多様性管理とエコツーリズム）が開催されました。

◆セッション名：(2) Disaster Risk Reduction Management 災害リスク軽減管理

◆キーワード：

統合水資源管理・法制度再編・マルチステークホルダー・減災・災害リスク評価・小流域参加促進
地域自治体単位の脆弱性評価・ドナー連携・科学的データ利活用・技術情報の一般普及（翻訳）
教育と社会啓発・専門機関管理データのアクセス性向上

◆プログラム：

1. **Water Related Disaster Risk Management in Asia** – Hisashi Mitsuhashi, ADB
2. **Sediment Management Methods for River Systems** – Dr. William Roper, PhD, P.E Rivers of the World Foundation, Maryland, **U.S.A**
3. **Climate Change Adaptation Practices in River Basin** – Dr. Dai-Yeun Jeong, SEEC, Jeju, **Korea**
4. **Flooding Prevention in City of Phuket, Kriangsak Chuchatpong Phuket, Thailand**
5. **Flood Hazard Mapping Techniques: Thailand Case Study** – Dr. Siriluk Chumchean, Mahanakorn University of Technology, **Thailand**
6. **Flood in Thua Thien Hue Province and Control Measures** – Tran Kim Thanh Hue, Province, **Vietnam**

【5】サミットの個別セッション（分科会）（5/31午後）

4つの分科会（1. ガバナンス、2. 災害リスク軽減管理、3. 水質及び水資源管理、4. 生物多様性管理とエコツーリズム）が開催されました。

◆セッション名：**(3) Water Quality & Resources Management 水質及び水資源管理**

◆キーワード：

法規制・汚染源対策・PPP・自治体能力強化・アクションプラン・住民参加・分散型污水处理
汚物管理プログラム・住民の教育及び啓発・コミュニティベースの協働

◆プログラム：

1. **Water Quality Management in the Philippines** – Jonathan Bulos, Environmental Management Bureau, Philippines
2. **Innovative Approaches to Water Management from Canada** – Kerry Freek, Water Canada, Toronto, **Canada**
3. **Water Safety Plan and Water Source Quality Monitoring** – Tran Van Tho, Hue City, Vietnam – Tran Van Tho, Hue City, **Vietnam**
4. **Bangyai Canal Redevelopment Through Public Participation** – Dr. Tasanee Aikvanich, Phuket, **Thailand**
5. **Jakarta Subsidence: Water Management as Measures of Counter Action** – Dudi Gardesi Asikin, Jakarta **Indonesia**
6. **Low Cost Wastewater Treatment and Up-Scaling Community Based Sanitation in Indonesia** – Noka Destalina, Yogyakarta, **Indonesia**

【5】サミットの個別セッション（分科会）（5/31午後）

4つの分科会（1. ガバナンス、2. 災害リスク軽減管理、3. 水質及び水資源管理、4. 生物多様性管理とエコツーリズム）が開催されました。

◆セッション名：**(4) Biodiversity Management and Ecotourism** 生物多様性とエコツーリズム

◆キーワード：

自然と文化が共生した再生・持続的開発・流域管理能力・流域資源依存・自治体連携・知見共有
学術と自治体の融合・科学的知見の還元・自治体能力強化・レポートカード・パートナーシップ

◆プログラム：

1. **75-History of Patuxent Wildlife Research Center: Major Findings Dealing with Environment and Conservation** – Dr. Matthew C. Perry, Maryland, **USA**
2. **Improving the Tigum-Aganan Watershed Planning Approach to Metro-Iloilo Guimaras: Sustainable Bioregion Initiative** – Gary Wilkins, Toronto and Region Conservation Authority, **Canada**
3. **The Commonality in Rivers of the World Despite the Spectrum of Diversity in Culture and Habitat** – Subijoy Dutta, Maryland, **USA**
4. **River Basin Management Practices on Biodiversity Management or Ecotourism** – Martin Krejza, Sindlar Group, **Czech Republic**
5. **From Fishers to Birders: The Bojo River Ecotourism Project: Reconciling River Biodiversity Conservation and Sustainable Livelihood** – Cynthia Moreno, Aloguinsan, Cebu, Philippines
6. **The Sunshine Coast Rivers Initiative** – Matthew Reddy, International River Foundation Queensland, **Australia**

【6】 閉会式 及び 大統領基調講演（6/1午前）

閉会式は下記プログラムで開催され、冒頭で、今回のサミット成果を集約し、イロイロ市の河川を軸とした地域活性化を進めていく上での宣言文が市長より発表されました。

続いて、各パラレルセッションの総括として、「講演内容」→「キーポイント」→「課題」→「解決策」→「提言」の順で発表され、本サミットの成果を参加者全員で共有しました。但し、最も大切な総括プロセスにも関わらず、その後行われる大統領基調講演の時間調整から、非常に短時間、かつ途中で終了する形での総括となったことは残念でなりません。

また第2回サミットが、2年後の2014年にマリキナ市（マニラ首都圏）で開催されることも発表されました。

【閉会式のプログラム】

1. イロイロ市の河川イニシアティブ宣言（イロイロ市長より）
2. サミットの各パラレルセッションの総括発表（各座長より）
3. 第2回フィリピン国際河川サミットの開催地発表
4. JALAUH川多目的ダム事業立ち上げ発表
5. フィリピン大統領による基調講演
6. 閉会宣言



市長による宣言



各パラレルセッションの総括発表



【6】 閉会式 及び 大統領基調講演（6/1午前）

AQUINO III フィリピン大統領による講演では、フィリピン国民と河川との深い歴史的な関わりに触れ、フィリピン全土で適正な河川流域管理及び水資源の管理をしていくための新たな組織づくりに向けた取組が表明されました。

また、イロイロ市における河川を軸とした地域活性化の取組を讃えるとともに、更なる地域の持続的発展に貢献する取組として、ルソン島以外では最大規模となる『JALAU 川多目的ダム建設』に関わる事業表明がなされました。

※大統領講演内容の詳細はこちら（英語）：

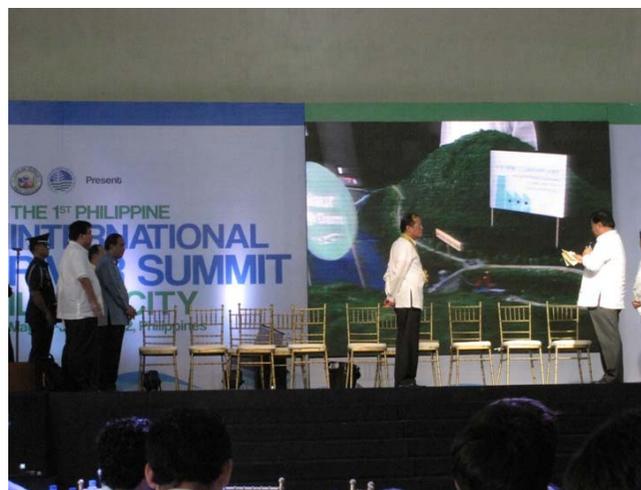
<http://www.gov.ph/2012/06/01/speech-of-president-aquino-at-the-1st-philippine-international-river-summit-june-1-2012/>



ハロ川支流・JALAU川に建設予定の多目的ダムの模型



AQUINO III フィリピン大統領による演説



大統領へのダム事業説明



4. 展示ブースの紹介

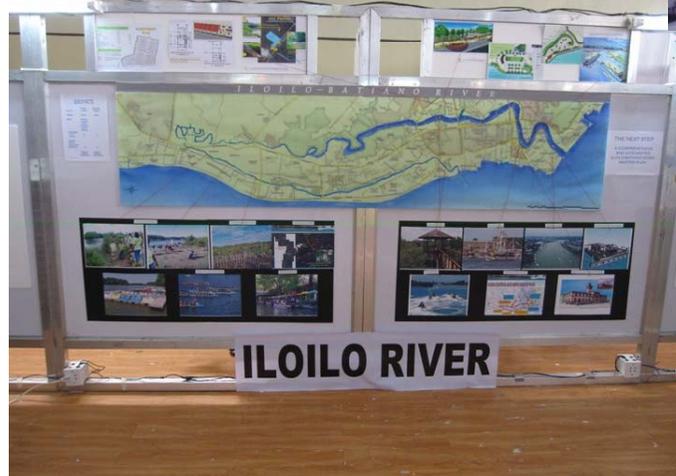
展示ブースでは、イロイロ川の写真展、イロイロ川整備事業の概要や模型、水に関わる企業の製品紹介、またイロイロ市の紹介などのコーナーが設けられました。



写真展



市の紹介
ブース



イロイロ川の概要説明ブース



THE 1st PHILIPPINE
INTERNATIONAL
RIVER SUMMIT
ILOILO CITY
May 30-June 1, 2012, Philippines

5. 各種メディアを通じた行事広報紹介



ILOILO City Mayor Jed Patrick E. Mabilog initiated the concept of hosting an international assembly on the issue of river management after his visit to Chicago last November 30, 2011. This 1st Philippine International River Summit in Iloilo City aims at stimulating collaborative learning and actions among experts of the local governments, non-government organizations, private sector and the academe, issues on river basin governance, climate change and disaster risk reduction, water quality and water resources management, biodiversity management and ecotourism. Given that Philippines had suffered from extreme flooding caused by typhoons like Ondoy and Sendong as well as that of Typhoon Frank's visit in Western Visayas signified the need for the government to focus on river management. Dubbed as "My River, My Life", this river summit will serve as avenue for sharing of good practices for river basin among experts and disseminate best practices in river management through tri-media publicity. Felicio H. Tu, Chair of the Budget and Finance Committee of the Iloilo River Summit, said that P7-8M from the national government and P500,000 from the Iloilo City Government are the allocated budget for the preparation and conduct of the river summit. Philippine Information Agency and TV 5 are the official media partners of the event. Mearwinila, PLOT-Smart, San Miguel, Patron, Boysen, Kasangga Party list, Department of Tourism and PASCOR are the major sponsors of the event. Speakers on the event include scientists from the Canadian Urban Institute, the Palawan Wildlife Center in Maryland, the University of Queensland in Australia, and local government executives and river basin managers from countries like Korea, Thailand, Nepal, Indonesia, Vietnam, and the Philippines. Pres. Benigno S. Aquino III, DENR Sec. Ramon Jesus P. Paje, Sen. Franklin M. Dizon will attend the river summit on the third day to speak at the Ceremonial Switching of Jaisur River Multi Purpose Project Stage II. They will also join the delegation in the field trips to Iloilo Wetland (Mangrove) Areas, River Esplanade and Heritage Sites in Iloilo City/ PN (By Sheila H. Tereno)

Message

My warmest welcome to all the participants and stakeholders of the 1st Philippine International River Summit in Iloilo City on May 30 to June 1, 2012. Let me emphasize my administration's full support to all the activities and projects relative to the protection and preservation of our rivers, particularly the Iloilo River. It is very important to save our rivers because they do not only promote biological diversity but they also serve as tourist attractions. I have always considered environmental protection as part of the strategic agenda of my administration. In fact, I have launched a two-pronged program aimed at rehabilitating our forests and watersheds and the mangrove areas and marine resources, as well. I also acknowledge the efforts of the Iloilo River Development Council (IRDC) for working towards improving the state of the historic Iloilo River and for initiating this revolutionary summit. It is my wish that this endeavour will be successful and will result to a more effective protection and preservation of our rivers.

ARTHUR D. DEFENSOR, SR.

Republic of the Philippines
House of Representatives
Quezon City, Metro Manila

HON. JERRY P. TREÑAS
Representative
Luna District, Iloilo City

MESSAGE

The protection of our rivers is an endeavour which should be prioritized by both the public and private sectors. May I therefore express my sincerest appreciation to the organizers of the 1st Philippine International River Summit for taking the initiative to save our country's rivers. I also wish to commend Panay News for being a staunch of environmental protection.

The significance of rivers in the development of human civilization cannot be overstated. The first major settlements of the earliest civilizations were built along rivers. Indeed, it can be said that rivers are the cradles of our cosmopolitan centers. Egypt's River Nile, China's Yangtze and Yellow Rivers, and ancient Mesopotamia's Tigris and Euphrates prove that the major settlements of early humans were created near rivers. Human settlements were built near rivers since these bodies of water provide irrigation, transportation and fresh water to the inhabitants.

Most major cities around the world are also built along rivers. The rivers Thames and Seine passes through London and Paris, while the Potomac and the Tiber flows through Washington and Rome. Major cities in the Philippines, such as Manila and Iloilo City, are also given life by mighty rivers: Manila City is home to our treasured Manila River.

Unfortunately, we have allowed our rivers to decay and be polluted by incessant industrial and commercial activities. It is therefore necessary for all stakeholders, from both the public and private sectors, to unite and take immediate action in order to preserve our rivers.

JERRY P. TREÑAS

今回の行事の特徴の一つに、サミットの様子が現地の新聞やテレビで広く報道され、マスメディアを特に意識したものとなっていた点が挙げられます。これは、来年に控えたフィリピン総選挙も大きく関係していると思われませんが、主な現地での報道を簡単に紹介します。

DENR initiatives for the rehabilitation, protection and development of Iloilo River

DENR-Land Management Services conduct surveys and mapping activities to determine the metes and bounds of the Iloilo River. The cadastral survey map of the river will be utilized for land use planning and rehabilitation projects. In its endeavour to make Iloilo River a trash free waterway, DENR-EMB launched the 'Adopt-an-Estero' Program, involving business establishments, the academe and other government agencies as partners to clean and protect the watercourse. The partner-agencies conducted series of clean-up activities and install grills on the drainage outfalls to trap wastes. To date, there are 15 partner agencies who work hand in hand with the DENR in its aim of restoring Iloilo River to its original condition. As part of the mitigating measures against soil erosion, river siltation and flooding, the DENR, other government agencies and the academe plant thousands of mangrove propagules along the Iloilo River. This is in line with the Mangrove Rehabilitation Initiative that will protect and manage the mangroves along the river. As of April 2012, there are 12,351 mangrove seedlings planted covering an area of 2.77 hectares. The DENR supervises the bailing and hauling of mangroves growing in the middle of the Iloilo River and these are transplanted to safer grounds. With the assistance from the Philippine Coast Guard and the Department of Public Works and Highways, mangroves and ripa clumps were replanted in the villages of Bonifacio, Sto. Niño and Sta. Cruz of Arevalo, Iloilo City. True to its commitment in rehabilitating and protecting Iloilo City's coastal areas, the DENR, initiated a simultaneous clean-up in the coastal villages along Iloilo River mostly during the International Coastal Clean-up, World Environment Day and Environment Month celebrations. Stakeholders from the public and private sectors and the academe joined the activity to show support in cleaning and improving the water quality of the Iloilo River.

環境天然資源省によるイロイロ川事業の紹介記事 (2012.5.31 PanayNews紙)

サミット開催紹介記事 (2012.5.31 PanayNews紙)



5. 各種メディアを通じた行事広報紹介

ILOILO RIVER

Lifeline of city



THE Iloilo River has been the lifeline of Iloilo City, serving as an anchor for human settlements for centuries, according to Rivers of the World (ROW) Foundation, a US-and-India-based global group dedicated to restoring and protecting rivers and streams.

"A key ingredient in keeping the river waters clean is raising community awareness – a task that has been shaping creative initiatives under the leadership of current mayor of Iloilo City, Jed Patrick Mabigo," stressed ROW communications director Keiwa Majumdar.

Today the centrally located city has become a thriving center for businesses and industries and a major tourism gateway to gorgeous beaches of Boracay Island. Iloilo is often called the "Queen City of the South" by Filipinos, she added.

Showcase of Thriving Urban Biodiversity

"With an integrated river management plan in place, the city is now moving ambitiously on a grand vision to tap into the economic potential of Iloilo River and develop it as the region's crowning glory.

The government is developing a multi-million dollar Iloilo River Esplanade as the city's hub for recreational, cultural, and tourism activities. It will be a converging place for public entertainment with an open-air park where people can enjoy concerts and performances by the banks of a clean and thriving river – a showcase of ecological balance between human habitat and their natural environment," Majumdar said.

Enthused by its own success, Iloilo City is stepping up to host the 1st International River Summit and May in partnership with Department of Environment and Natural Resources (DENR) and ROW as one of the supporting global partners.

The event will serve as a global forum on best practices in river management and is meaningfully themed "My River, My Life."

Several consultative and neighboring regions are expected to participate and share their challenges. Hopefully, the forum will encourage and guide many more cities to revive their rivers and streams and build their economy around it," she said.

Iloilo River derives fresh water from rivers and creeks that are connected to it and saline water from the sea that feeds it – the rise and fall of the tide makes it possible for nutrients, such as planktons and detritus – to circulate in and out of estuary.

Iloilo River is thus a natural wonder of sorts carrying rare several Philippines' native mangrove species, as it meanders its way through the urban habitat. Urban biodiversity is thus especially of critical value for Iloilo City," Majumdar said.

"Greening" a city when a river runs through it poses especially a tough challenge when the city is caught up in rapid economic growth – as is the case with many Asian cities today, she added.

It is indeed quite an honor for a city to receive the International Award for Livable Communities or LivCom endorsed by United Nations Environment Program. LivCom recognizes cities the world over for best practices in environmental management.

One of the largest urban hubs in Philippines, Iloilo City was the proud recipient of 2011 LivCom Award for turning around the fortunes of its dying river with a highly determined river action plan, she said.

Clock Turned Around for a Dying River

Today, local and national officials are amazed at how far they have come with just a few years of efforts focused on reviving Iloilo River's waters and its status in the city, said Majumdar.

The first step took shape of a River Master Plan in 2004 under the environmental stewardship of city mayor at that time. The plan led to the formation in 2005 of a multi-agency Iloilo River Development Council (IRDC), a consultative and coordinative body with primary goals of improving the river water quality and presenting its ecology while promoting sustainable development of the city, she added.

Majumdar cited the following key elements of river management plan: IRDC facilitates co-regulation, co-monitoring and co-implementation by providing a common forum for multiple bodies to come together on overlapping issues.

It established in 2010 "Bantay Suba" or River Watch Program to enforce anti-littering laws along the river and stop illegal encroachments, fishing and waste dump. The team is a public-private alliance with volunteers from NGOs and Philippines coast guards and naval reserves.

Bantay Suba routinely organizes volunteer river trash clean-up activities, imbuing a spirit of ownership in the community.

City officials are working to relocate illegal dwellings to safer parts of metro areas.

IRDC has been launching pilot wastewater treatment facilities to demonstrate technology options that are affordable and viable and can be replicated to other parts of the region.

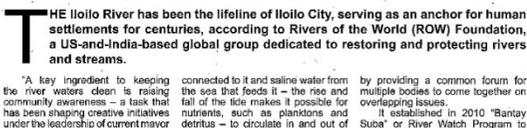
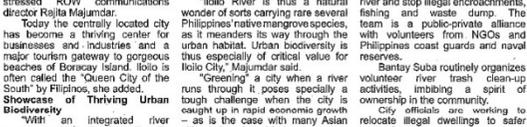
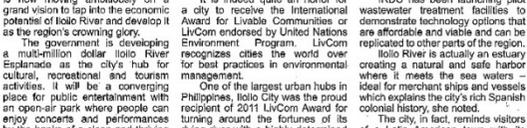
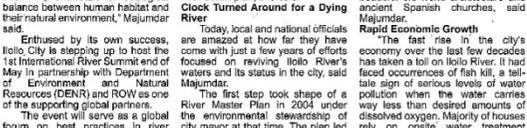
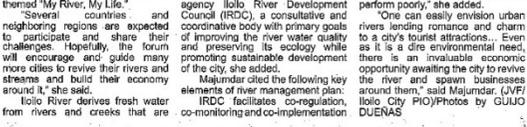
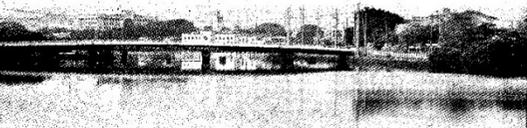
Iloilo River is actually an estuary creating a natural and safe harbor where it meets the sea waters – ideal for merchant ships and vessels which explains the city's rich Spanish colonial history, she noted.

The city, in fact, reminds visitors of a Latin American town with its beautiful old world architecture and ancient Spanish churches, said Majumdar.

Rapid Economic Growth

"The fast rise in the city's economy over the last few decades has taken a toll on Iloilo River. It had faced occurrences of fish kill, a tell-tale sign of serious levels of water pollution when the water carries way less than desired amounts of dissolved oxygen. Majority of houses rely on onsite water treatment through septic tanks that typically perform poorly," she added.

"One can easily envision urban rivers lending romance and charm to a city's tourist attractions. Even there is a dire environmental need, there is an invaluable economic opportunity awaiting the city to revive the river and spawn businesses around them," said Majumdar. (JVP/Iloilo City PIO)/Photos by GUJO DUEÑAS

Other Rivers in Western Visayas



TIGUM-AGANAN River

TIGUM RIVER, Iloilo - covers an area of 21,300 hectares. Five towns share the administrative jurisdiction, namely: Massin, Janiuay, Cabatuan, Sta. Barbara and Pavia.

AGANAN RIVER, Iloilo - supports the National Irrigation Administration (NIA) project of the Aganan River Irrigation System (ARIS). It has a total service area of 4,467 hectares benefiting a total of 3,000 farmer beneficiaries. Aganan River converges with Tigum River at Ungka 1, Pavia, Iloilo. After meeting of these two rivers it is now called Jaro or "Salog" River which drains to the sea at Brgy. Hinactacan, Lapaz, Iloilo City.

JALAU RIVER, Iloilo - is under the jurisdiction of CENRO Barotac Nuevo, Iloilo covering 15 municipalities with a total area of 157,355,7502 hectares. It traverses the municipalities of Calinog, Passi, Janiuay, San Enrique, Lambunao, Duenas, Pototan, Badiangan, Dingle, Anlao, Barotac Nuevo, Dumangas and Mina.



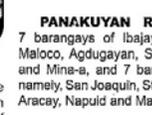
LIBACAO RIVER, Aklan - is the major source of headwaters of Aklan River. Waters flowing in Aklan River pass through the municipalities of Libacao, Malinao, Banga, Lezo, Numancia and Kalibo before it drains to the Sibuyan Sea.

BUGANG RIVER, Antique - was awarded as the cleanest inland body of water by the Gawad Pangulo sa Kapaligiran in 2003. It stretches about 5 kilometers from the subterranean river of the North West Panay Peninsula to the mouth of the Bugang River and exits to Pandan Bay. Traversing the middle section of the river are the mangroves that serve as natural filter and breeding ground to different species. The river is supported by several springs, one of which is the major source of water supply for the municipality of Pandan, Antique.

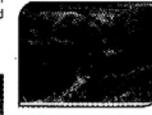
SIBUNAG RIVER, Guimaras - is considered as the longest river in Guimaras Island traversing 17 barangays of the municipalities of Sibunag, Jordan, Nueva Valencia and San Lorenzo. The river is utilized for domestic and agricultural purposes. It also serves as source of food and raw materials for local construction and plays a vital role in the maintenance of a healthy ecosystem including that which is found in the coastal areas of the province.



HIMOGAAN RIVER, Neg. Occ. - has its headwaters at 800 meters above sea level on the peak of Mount Mandatagan. It has an area of 44,912.82 hectares. It encompasses 2 cities and 3 municipalities namely, Cadiz City, Sagay City, Escalante City and the Municipalities of Toboso, Calatrava and Don Salvador Benedito.



PANAKUYAN RIVER, Aklan - covers 7 barangays of Ibayay, Aklan namely, Mabuso, Maloco, Agdagayan, San Jose, Malindog, Aparicio and Mina-a, and 7 barangays of Pandan, Antique namely, San Joaquin, Sta. Ana, Perfecta, Badiangan, Aracay, Napuid and Maadios



MAUI-TIPULAN RIVER, Antique is the headwater of Sibalom River that stretches up to 17.9 kilometers. Another secondary river at San Remigio called Manilla River also drains towards Sibalom River.



Produced by the DENR
Western Visayas
Regional Public Affairs Office
Fort San Pedro, Iloilo City



イロイロ市が属する西ビサヤ地域の他河川の紹介記事
(2012.5.31 PenayNews紙)

イロイロ川の紹介記事
(2012.5.31 PenayNews紙)



THE 1st PHILIPPINE
INTERNATIONAL RIVER SUMMIT
ILOILO CITY
May 30-June 1, 2012, Philippines

5. 各種メディアを通じた行事広報紹介

GUARDIAN Friday, June 1, 2012 | 3

Announcing the Launching of the Jalaur River Multi-Purpose Project II
The **FIRST** large-scale reservoir dam outside Luzon

His Excellency **Benigno S. Aquino III**

in observation of the **1st International River Summit**
May 30 - June 1, 2012

Sen. Franklin M. Drilon



Main Features:

- Jalaur Reservoir Dam
- Afterbay Dam
- Alibunan Catch Dam
- 6.8 MW Powerplant
- 81 km High Line Canal

Processo J. Alcala
Secretary, DA

Antonio S. Nangel
Administrator, NIA

Korea Eximbank

EDCF Economic Development Cooperation Fund

PNOY TO LAUNCH P11.2-B JALOUR DAM

By SAMMY JULIAN

ILOILO – No less than President Benigno Aquino III will lead the launching of the P11.2-billion Jalaur River Multi-Purpose Project II (JRMPP II) in Brgy. Agealaga, Calinog town today.

The dam project is the largest outside of Luzon and the biggest national government project ever in Iloilo's history.

The President will also keynote the 1st Philippine International River Summit at the Centennial Resort Hotel and Convention Center in Atia Terra Village, also, Iloilo City.

The dam is expected to bring unparalleled development to the city and province of Iloilo.

Sixty percent of the fund for Phase I of the dam construction will come from the Korean Export-Import Bank. The remaining 40 percent will be the counterpart of the Philippine government.

PNoy 12:45

AQUINO

'Ill-managed rivers a threat to humanity'

By JEZZA NEPOMOCENO

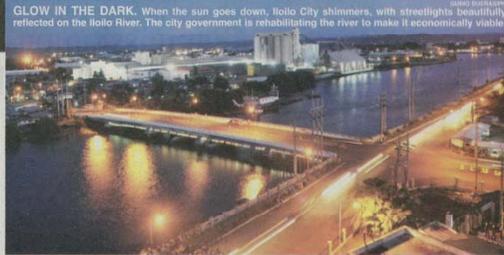
ILOILO City – Though he refused to be called a "prophet of doom," Sen. Franklin Drilon warned that poor river management will claim lives.

"It pays to heed the warning that one of the fiercest battles of the future is on water," Drilon told the delegates of the 1st Philippine International River Summit being held here.

Extreme water scarcity is not remote, Drilon said, citing widespread drought and famine experienced by some countries today.

ILL-MANAGED 12:45

GLOW IN THE DARK. When the sun goes down, Iloilo City shimmers, with streetlights beautifully reflected on the Iloilo River. The city government is rehabilitating the river to make it economically viable.



Iloilo River Esplanade blends human activity, environment

By ELSA SUBONG

ILOILO City – The city government is developing a multimillion-peso Iloilo River Esplanade intended to serve as a hub for cultural, recreational and tourism activities.

The esplanade, according to Mayor Jed Patrick Mabilog, is expected to be a converging place for public entertainment, with an open-air park for concerts and performances along the banks of a clean and thriving river.

Rivers of the World Foundation Communications Director Rajita Majumdar said the esplanade would be a showcase of ecological balance between human habitat and their natural environment.

ROW foundation is a US and India-based global group dedicated to restoring and protecting rivers and streams.

Department of Public Works and Highways Division 6 said the project covers a road widening for six meters in the 1.2-kilometer Treñas Boulevard, from the diversion road to Carpenters Bridge.

It consists of a view deck, palm trees planted in the esplanade park, fountain, lamp post and a giant Diangyan warrior which signifies Iloilo City's famous festival.

It also provides a recreational space for walking, complete with stalls and restaurants.

The City Planning Office said the esplanade is envisioned to boost the tourism industry in the city, ease vehicular traffic because it is intended as a bike road, a haven for physical fitness-conscious activities like jogging and public aerobic.

Further, this early, the esplanade is already attracting visitors and photo enthusiasts who seek to capture the natural scenic beauty of the idyllic Iloilo River.

Majumdar said ROW Foundation has noted that the city government has embarked on creative initiatives to keep Iloilo River waters clean, through good river management.

The Iloilo River Esplanade is among the projects President Benigno S. Aquino III will walk through, to see the on-going work which is about 82 percent completed now, funded from the PDAF of Senator Franklin Drilon. (PIA-Iloilo/PN)

Jalaurダム事業立上げとEsplanade事業紹介記事
(2012.6.1 PenayNews紙)

Jalaurダム事業立上げ表明
(2012.6.1 DailyGuardian紙)



6. 本サミットに参加しての感想と今後の取組み

「パートナーシップによる持続可能な河川流域管理の実現に向けた知見共有」という開催趣旨に照らし合せると、フィリピン国内関係者及び海外からの参加者にとっても素晴らしい成果が得られた行事でありました。イロイロ市長の強いリーダーシップ、またJICAやCITYNET等の日本の関係者を含む、様々な方々の努力の上に本行事の成功があると思います。一方で、盛大な打ち上げ花火の様な一過性のイベントで終わらぬよう、参加者や関係者が今後のフォローアップを如何にできるかに本行事の真の成果は掛かっているとも言えるでしょう。

また今回の行事参加を通じては、フィリピンの河川管理におけるこれまでの日本の貢献を再認識するとともに、減災と環境保全の視点からの河川再生、更には川を軸とした地域活性化など、日本がこれまで蓄積してきた様々な知見を積極的に関係者と共有していくことの重要性も確認できました。

JRRNでは、本行事に参加した日本関係機関との継続的な連携を通じ、イロイロ市関係者との情報共有や技術協力に貢献してまいります。また、海外より参加された「Rivers of the World (ROW) Foundation (米国)」や「International Water Centre (豪州)」などとも連携構築を進めて参ります。

本行事の参加を通じて得た知見は、今後のJRRN及びARRN運営に生かしながら、日本を含むアジアにおける河川再生の担い手の出会いの広場（横断的な連携基盤）の構築を目指して参ります。



第1回フィリピン国際河川サミット 参加報告 (2012年5月30日～6月1日：フィリピン国イロイロ市)

発行日： 2012年8月23日（木）

発行： 日本河川・流域再生ネットワーク（JRRN）

事務局（連絡先）： 〒104-0033 東京都中央区新川1丁目17番24号 新川中央ビル7階
公益財団法人リバーフロント研究所内

Tel: 03-6228-3862 Fax: 03-3523-0640 E-mail: info@a-rr.net URL: <http://www.a-rr.net/jp/>

※JRRNは、「アジア河川・流域再生ネットワーク構築と活用に関する共同研究」の一環として、公益財団法人リバーフロント研究所と株式会社建設技術研究所国土文化研究所が公益を目的に運営を担っています。

